

2016 年度
(第 2 期)
事 業 報 告 書

自 2016 年 1 月 1 日

至 2016 年 12 月 31 日

公益財団法人 杉浦記念財団

I. 事業の概要

1. 主な活動の概況

(1) 助成・褒賞事業【地域医療の振興に関わる活動等に対する助成、褒賞（定款第4条第1項第1号）】

助成・褒賞事業では、地域医療の振興に関わる活動等に対する助成、褒賞として、「杉浦地域医療振興助成」（以下「杉浦助成」という。）と「杉浦地域医療振興賞」（以下「杉浦賞」という。）を実施しております。

杉浦助成は、地域医療振興の分野で、優れた活動や研究を行っている個人・団体に対して、今後より有意義な活動や研究の成果を期待して助成金を付与するものです。

また、杉浦賞は、地域医療を振興し、国民の健康と福祉の向上に優れた成果をおさめ、住み慣れた地域で安心して、その人らしく住み続けることを支援する活動を行った団体・個人を表彰するものです。

当年度におきましては、第5回杉浦助成・杉浦賞の募集・選考を実施し、その授与式及び第4回杉浦助成の報告会を開催いたしました。

(2) 調査・研究事業【地域医療の振興に係る社会実験への助成、参画（定款第4条第1項第2号）】

調査・研究事業では、地域医療の振興に係る社会実験への助成、参画として、以下の研究会等を運営しております。

a. 都市型の看護介護医療等連携研究会

都市型の看護介護医療等連携研究会では、「認知症」をテーマとして多職種連携の在り方を追究しております。

b. 医薬品適正使用協働研究会

医薬品適正使用協働研究会では、医薬品適正使用の観点から、チーム医療における協働を進めることを追究しております。

c. 愛知県地域再生・まちづくり研究会

愛知県地域再生・まちづくり研究会では、人口急減・超高齢化により衰退の傾向にある地域が、それぞれの特徴を活かして再生し、自律的で持続的な社会を実現できるまちづくりを追究しております。

d. 健康寿命延伸と介護予防を考える会

健康寿命延伸と介護予防を考える会では、70歳以降に要介護状態に陥ることなく、可能な限り長く自立して生活できるよう、具体的な健康寿命延伸のための方策を追究しております。

当年度におきましては、各研究会等の開催のほか、

- ▶ 都市型の看護介護医療等連携研究会の講演集 Vol.3 の発行
- ▶ 医薬品適正使用協働研究会の会員が発起人となった一般社団法人日本老年薬学会の立上げ支援
- ▶ 愛知県地域再生・まちづくり研究会の1年間の成果として、『長生きを喜べるまちへ「愛知への提言」』の冊子取りまとめ、「長生きを喜べるまちづくりシンポジウム」の開催
- ▶ 健康寿命延伸と介護予防を考える会の立上げを行いました。

(3) 講座・セミナー事業（一般人対象）【その他前条の目的を達成するために必要な事業（定款第4条第1項第6号）】

講座・セミナー事業（一般人対象）では、主に一般人を対象として、以下のセミナー等を実施しております。

a. 健康増進セミナー

健康増進セミナーでは、体組成・骨密度・血管年齢等の測定、健康相談、講演会を株式会社スギ薬局の協賛にて実施しております。

b. 認知症医療介護推進フォーラム

国立研究開発法人 国立長寿医療研究センターの主催する認知症医療介護推進フォーラムに共催する形で参画しております。

当年度におきましては、健康増進セミナーを東名阪の主要都市にて、また、第3回認知症医療介護推進フォーラムを京都市にて開催いたしました。

(4) 講座・セミナー事業（専門家対象）【医師、薬剤師、看護師等の医療従事者及び介護福祉従事者の育成事業（定款第4条第1項第3号）】

講座・セミナー事業（専門家対象）では、研修認定薬剤師制度における集合研修の単位を取得することのできる「地域包括ケアを担う薬剤師の為にインターネット研修」を運営しております。

当年度におきましては、受講者の急激な増加に対応し、システムを再構築し、5,000名の受講が可能な環境を整えました。

2. 決算の概況

(1) 正味財産増減計算書

經常収益が 92,887,752 円であったのに対し、經常費用は 100,349,819 円で、そのうち事業費が 72,712,150 円、管理費が 27,637,669 円でした。

以上の結果、当期經常増減額は△7,462,067 円となり、一般法人時代の税金還付 33,300 円がありましたので、一般正味財産につきましては、期首残高 30,365,809 円から 7,428,767 円減少し、期末残高は 22,937,042 円となりました。

指定正味財産につきましては、増減がありませんでしたので、期首残高 20,847,910,372 円がそのまま期末残高となりました。

以上の結果、正味財産期末残高は 20,870,847,414 円となりました。

なお、2015 年 7 月 1 日に公益法人に認定されたため、一般法人としての第 5 期、公益法人としての第 1 期はそれぞれ 6 ヶ月間でありましたが、参考までにこれらを通算して当年度と比較すると、以下のとおりとなります。

(ご参考) 正味財産増減計算書 主要科目増減 (単位:円)

科 目	当年度	一般第 5 期 公益第 1 期	増 減
經常収益	92,887,752	77,108,032	15,779,720
經常費用	100,349,819	74,172,030	26,177,789
うち事業費	72,712,150	57,238,588	15,473,562
うち管理費	27,637,669	16,933,442	10,704,227
当期經常増減額	△7,462,067	2,936,002	△10,398,069
当期經常外増減額	0	△15,170	15,170
税引前当期一般正味財産増減額	△7,462,067	2,920,832	△10,382,899
法人税、住民税、事業税	△33,300	69,403	△102,703
当期一般正味財産増減額	△7,428,767	2,851,429	△10,280,196
一般正味財産期首残高	30,365,809	27,514,380	2,851,429
一般正味財産期末残高	22,937,042	30,365,809	△7,428,767
当期指定正味財産増減額	0	△75,630,000	75,630,000
指定正味財産期首残高	20,847,910,372	20,923,540,372	△75,630,000
指定正味財産期末残高	20,847,910,372	20,847,910,372	0
正味財産期末残高	20,870,847,414	20,878,276,181	△7,428,767

(2) 貸借対照表

流動資産は、前年度比△11,212,091 円の 8,250,725 円となり、その主因は、現金預金が前年度比△9,293,250 円となったことにあります。

固定資産は、前年度比+5,061,496 円の 20,865,061,190 円となり、その主因は、超音波骨密度測定装置の購入により什器備品が前年度比+2,846,482 円、インターネット研修サイトの再構築によりソフトウェアが前年度比+2,237,834 円となったことにあります。

以上の結果、資産合計は、前年度比△6,150,595 円の 20,873,311,915 円となりました。

流動負債は、前年度比+1,278,172 円の 2,464,501 円となり、その主因は、未払金が前年度比+1,623,714 円となったことにあります。

固定負債に該当するものがないので、負債合計は流動負債と同額となります。

なお、資産負債の詳細につきましては、決算報告書「財産目録」に記載のとおりです。

3. 事業報告

(1) 助成・褒賞事業

a. 第5回杉浦地域医療振興助成

助成の対象	地域医療振興の分野で、優れた活動や研究を行っている個人・団体に対して、今後より有意義な活動や研究の成果を期待して助成金を付与します。
募集・選考結果	2016年1月1日から同年2月29日までを募集期間とし、学会、特定団体を利用して候補を募集した結果、124件の応募がありました。そのうち13の個人・団体に対して総額20,603,843円を助成しました。
授与式等	2016年7月12日に帝国ホテル東京にて、第5回杉浦助成授与式と第4回杉浦助成の成果発表会を実施いたしました。

b. 第5回杉浦地域医療振興賞

褒賞対象	地域医療を振興し、国民の健康と福祉の向上に優れた成果をおさめ、住み慣れた地域で安心して、その人らしく住み続けることを支援する活動を行った団体・個人を表彰します。
募集・選考結果	2015年10月1日から2015年12月31日を募集期間とし27編の応募がありました。そのうち5の個人・団体を表彰し副賞として各々2,000,000円、総額10,000,000円を贈呈いたしました。
授与式	2016年7月12日に帝国ホテル東京にて、第5回杉浦賞授与式を実施いたしました。

c. その他費用

助成金、褒賞金のほか、助成・褒賞の募集、選考、表彰式、報告書の作成等に要した費用は8,779,721円で、内訳は以下のとおりです。

費目	金額	摘要
選考費用	1,398,278円	謝金、会議費、旅費交通費等
贈呈式費用	5,717,040円	会場費、旅費交通費、謝金等
報告集等印刷費	1,049,500円	
次年度募集費用	45,263円	
その他	569,640円	消費税等

第5回杉浦地域医療振興賞の審査委員は、以下のとおりです。

役名	氏名	所属・役職
委員長	大島 伸一	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 名誉総長
委員	秋山 弘子	東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授
委員	柴田 博	桜美林大学 名誉教授・特任教授
委員	辻 哲夫	東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授

(注) 五十音順で記載しております。

第5回杉浦地域医療振興助成の選考委員は、以下のとおりです。

役名	氏名	所属・役職
委員長	伴 信太郎	名古屋大学大学院医学系研究科 総合診療医学講座教授
委員	網岡 克雄	金城学院大学薬学部 医療薬学 教授

役名	氏名	所属・役職
委員	雨師 みよ子	一般社団法人 大阪府訪問看護ステーション協会 副会長
委員	安藤 明夫	中日新聞社 医療担当編集委員
委員	安東 直紀	宮津市役所 理事／元 京都大学大学院 工学研究科・医学研究科 安寧の都市ユニット 特定准教授
委員	井伊 久美子	公益社団法人日本看護協会 専務理事
委員	上野 桂子	社会福祉法人聖隷福祉事業団 監事／社団法人全国訪問看護事業協会 副会長
委員	遠藤 英俊	国立長寿医療研究センター 内科総合診療部長／長寿医療研修センター長
委員	大原 弘隆	名古屋市立大学病院 地域医療教育学教授 地域医療学寄附講座主任教授
委員	白澤 政和	桜美林大学大学院老年学研究科 教授 日本学術会議会員
委員	高瀬 義昌	医療法人社団 至高会 たかせクリニック 理事長／公益財団法人日米医学医療交流財団 専務理事
委員	田中 雅子	社会福祉法人富山県社会福祉協議会 富山県福祉カレッジ 教授
委員	山本 陽子	株式会社ケア・ビューティフル 代表取締役／介護福祉士／産業カウンセラー

(注) 五十音順で記載しております。

(2) 調査・研究事業

a. 都市型の看護介護医療等連携研究会

都市型の看護介護医療等連携研究会では、「認知症」をテーマとして多職種連携の在り方を追究しており、当年度は5回開催いたしました。また、講演集 Vol.3 を発行いたしました。

上記に要した費用は6,455,006円で内訳は、以下のとおりです。

費目	金額	摘要
印刷製本費	2,780,171 円	講演集 Vol.3 制作費、資料印刷費
諸謝金	650,000 円	講師、座長
会議費	1,283,955 円	会場費、弁当代、資料代等
旅費交通費	1,280,767 円	
通信運搬費	30,149 円	
租税公課	429,964 円	消費税

都市型の看護介護医療等連携研究会 講演集 Vol.3 の内容は、以下のとおりです。

第1章 「役割」と「居場所」のあるまち

愛知県長久手市 市長 吉田 一平

第2章 「都市部での介護保険の展開」大牟田市の認知症ケアと地域ケア～大牟田式オレンジプランの育ち方～

社会福祉法人東翔会グループホーム「ふぁみりえ」ホーム長 大谷 るみ子

第3章 ご近所パワー活用術「気になる人を真ん中に」

ボランティアグループすずの会 代表 鈴木 恵子

第4章 地域包括ケアシステム幸手モデル

東埼玉総合病院 在宅医療連携拠点事業推進室「菜の花」室長 中野 智紀



第5章 地域連携と多職種協働～地域包括ケアシステムを評価する試み～

医療法人アスミス 理事長 太田 秀樹

第6章 都市型の看護介護医療等連携研究会によせて

国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 名誉総長 大島 伸一

テーマと講師は、以下のとおりです。

	日 程	会 場	テ ー マ	講 師
第4回	2016年 2月4日 (木)	東京ステーションコンファレンス	『まちづくりに専門職ができること』～おおた高齢者見守りネットワーク(みま～も)の取り組み～	澤登 久雄 社会医療法人財団 仁医会 牧田総合病院/大田区地域包括支援センター入新井 センター長/おおた高齢者見守りネットワーク発起人
第5回	2016年 4月7日 (木)	東京ステーションコンファレンス	認知症の人のより良い生き方を誰が実現するのか	堀田 力 さわやか法律事務所
第6回	2016年 6月2日 (木)	トラストシティカンファレンス・丸の内	認知症の人がより良く生きていける社会の実現を目指す	後藤 恵子 東京理科大学 薬学部 薬学科健康心理学研究室 教授
第7回	2016年 8月4日 (木)	東京ステーションコンファレンス	家族の介護負担を考える:徘徊の実態と対応	鈴木 隆雄 桜美林大学 老年学総合研究所 所長/桜美林大学大学院教授
第8回	2016年 10月6日 (木)	東京ステーションコンファレンス	高齢ドライバ対策	鎌田 実 東京大学 大学院新領域創成科学研究科 人間環境学専攻教授(兼:高齢社会総合研究機構、工学部機械工学科)

当研究会の参加メンバーは、以下のとおりです。

役 名	氏 名	所 属・役 職
座 長	田中 滋	慶應義塾大学 名誉教授
副座長	高瀬 義昌	医療法人社団至高会 たかせクリニック 理事長
副座長	宮島 渡	社会福祉法人恵仁福祉協会 常務理事/アザレアンさなだ 総合施設長
副座長	秋山 正子	白十字訪問看護ステーション 代表取締役・統括所長
アドバイザー	齋藤 訓子	公益社団法人日本看護協会 常任理事
アドバイザー	宮島 俊彦	内閣官房社会保障改革担当室長
アドバイザー	森 貞述	介護相談・地域づくり連絡会 会長(元 高浜市長)
会 員	朝田 隆	医療法人社団創知会 メモリークリニックお茶の水
会 員	阿部 智子	訪問看護ステーションけせら 管理者
会 員	岡本 茂雄	セントケアホールディング株式会社 執行役員 医療企画本部 本部長/一般財団法人オレンジクロス 理事長
会 員	大木 一正	クリーン薬局

役名	氏名	所属・役職
会 員	栗田 圭一	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター研究所
会 員	磯村 順司	社会福祉法人高浜社会福祉協議会 事務局長
会 員	伊藤 善典	埼玉県立大学 保健医療福祉学部・大学院保健医療福祉学研究科
会 員	宇都宮 宏子	在宅ケア移行支援研究所 代表
会 員	大澤 光司	株式会社メディカルグリーン 代表取締役社長
会 員	勝又 浜子	公益社団法人日本看護協会 常任理事
会 員	川越 正平	あおぞら診療所 院長
会 員	木全 真理	東京大学 高齢社会総合研究機構 特任件教員
会 員	小玉 剛	こだま歯科医院 院長
会 員	後藤 恵子	東京理科大学 薬学部 薬学科 健康心理学研究室 教授
会 員	澤登 久雄	社会医療法人財団 仁医会 牧田総合病院／大田区地域包括支援センター入新井 センター長／おおた高齢者見守りネットワーク発起人
会 員	椎名 美恵子	有限会社ふれすか 訪問看護ステーション みけ 代表
会 員	柴田 範子	特定非営利活動法人楽 理事長
会 員	助川 未枝保	一般社団法人日本介護支援専門員協会 常任理事／千葉県後見支援センター契約締結審査会 副委員長
会 員	高砂 裕子	社団法人南区医師協会 南区メディカルセンター／訪問看護ステーション 管理者
会 員	高橋 紘士	一般財団法人高齢者住宅財団 理事長
会 員	東内 京一	埼玉県和光市保健福祉部 部長
会 員	長尾 和宏	医療法人社団裕和会 長尾クリニック 理事長
会 員	新田 國夫	医療法人社団つくし会 理事長
会 員	野中 久美子	東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健研究チーム 研究員
会 員	馬袋 秀男	「民間事業の質を高める」一般社団法人全国介護事業者協議会 特別理事
会 員	日栄 優	社会福祉法人京都福祉サービス協会 西京事務所 所長
会 員	藤田 正之	医療法人人医会 理事／西尾市地域包括支援センター中央 総合センター長
会 員	藤原 佳典	地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター研究所
会 員	船木 良真	三つ葉在宅クリニック 理事長
会 員	宮地 博	社会福祉法人京都福祉サービス協会 居宅本部長
会 員	山村 由美子	社会福祉法人長岡福祉協会 高齢者総合ケアセンターこぶし園 24時間ケアサービスステーション リーダー
会 員	山下 和彦	東京医療保健大学 医療保健学部 医療情報学科 教授
会 員	吉井 靖子	社会福祉法人長岡福祉協会 高齢者総合ケアセンターこぶし園 総合施設長
会 員	吉江 悟	東京大学高齢社会総合研究機構 特任研究員

(注) 五十音順で記載しております。

b. 医薬品適正使用協働研究会

医薬品適正使用協働研究会では、医薬品適正使用の観点から、チーム医療における協働を進めることを追究しており、当年度は6回開催いたしました。また、一般社団法人日本老年薬学会の立上げの支援を行いました。

上記に要した費用は5,014,392円で、内訳は以下のとおりです。

費目	金額	摘要
諸謝金	910,000円	講師、座長
会議費	1,752,274円	会場費、弁当代、資料代等
旅費交通費	1,996,484円	
通信運搬費	42,430円	
その他	313,204円	消費税等

テーマと講師は、以下のとおりです。なお、講演は、地域包括ケアを担う薬剤師の為のインターネット研修コンテンツに活用しております。

	日程	会場	テーマ	講師
第9回	2016年 2月10日 (水)	東京ステーションコンファレンス	皮膚に着目した老年薬学	大井 一弥 鈴鹿医療科学大学 薬学部 病態・治療学分野 臨床薬理学研究室 教授
第10回	2016年 4月13日 (水)	東京ステーションコンファレンス	睡眠薬の使用方法	大谷 道輝 東京逋信病院 薬剤部 副 薬剤部長
第11回	2016年 6月15日 (水)	東京ステーションコンファレンス	抗精神病薬、抗認知症薬と抗コリン活性について	堀 宏治 昭和大学横浜市北部病院 メンタルケアセンター
第12回	2016年 8月10日 (水)	東京ステーションコンファレンス	医薬品の適正使用について～在宅医療の現場から考える～	山中 崇 東京大学医学部在宅医療学 拠点 特任准教授
第13回	2016年 10月12日 (水)	東京ステーションコンファレンス	在宅医療とポリファーマシー	佐々木 淳 医療法人社団悠翔会 理事長
第14回	2016年 12月14日 (水)	東京ステーションコンファレンス	在宅患者の処方見直しと処方変更後の患者アセスメント	大嶋 繁 城西大学薬学部薬局管理学 実務実習コーディネーター室

当研究会の参加メンバーは、以下のとおりです。

役名	氏名	所属・役職
座長	秋下 雅弘	東京大学大学院医学系研究科加齢医学 教授／東京大学医学部附属病院老年病科 教授
副座長	倉田 なおみ	昭和大学薬学部 社会健康薬学講座 地域医療薬学部 門 教授
副座長	鈴木 裕介	名古屋大学地域包括ケアシステム学講座 准教授

役名	氏名	所属・役職
副座長	水上 勝義	筑波大学大学院人間総合科学研究科／スポーツ健康システム・マネジメント科学専攻 教授
会 員	飯島 勝矢	東京大学高齢社会総合研究機構 准教授
会 員	五十嵐 中	東京大学大学院薬学系研究科医薬政策学 特任准教授
会 員	大井 一弥	鈴鹿医療科学大学 大学院薬学研究科 薬学部 治療・病態学分野 臨床薬理学研究室 教授
会 員	大嶋 繁	城西大学薬学部薬局管理実務実習コーディネート室
会 員	大谷 道輝	東京通信病院 薬剤部 副薬剤部長
会 員	恩田 光子	大阪薬科大学 臨床実践薬科大学研究室 准教授
会 員	川添 哲嗣	医療法人つくし会南国病院
会 員	金澤 幸江	一般社団法人土浦薬剤師会 会長
会 員	亀井 浩行	名城大学 薬学部 病院薬学研究室 教授
会 員	亀井 美和子	日本大学 薬学部 実践薬学系 医療コミュニケーション学研究室 教授
会 員	小島 太郎	東京大学医学部附属病院 老年病科 助教
会 員	後藤 恵子	東京理科大学 薬学部薬学科 健康心理学研究室 教授
会 員	佐藤 啓	公益財団法人日本薬剤師研修センター 常務理事
会 員	杉浦 伸一	名古屋大学大学院医学系研究科 医学教育研究支援センター 特任研究部門 医療行政学 特任准教授
会 員	鈴木 匡	名古屋市立大学 薬学部 臨床薬学教育研究センター 教授
会 員	清野 敏一	帝京平成大学 薬学部薬学科 教授
会 員	高瀬 義昌	医療法人社団至高会 たかせクリニック 理事長
会 員	中西 弘和	同志社女子薬科大学 医療薬学科 臨床薬学教育研究センター 教授
会 員	伴 信太郎	名古屋大学大学院医学系研究科 総合診療医学講座 教授
会 員	平井 みどり	神戸大学医学部附属病院薬剤部 薬剤部長
会 員	福島 紀子	慶応義塾大学 薬学部 名誉教授／一般社団法人慶應義塾大学部K P会 副会長
会 員	古田 勝経	愛生館小林記念病院 褥瘡ケアセンター長（国立長寿医療研究センター特任研究員）
会 員	堀 美智子	医薬情報研究所／株式会社エス・アイ・シー
会 員	丸岡 弘治	医療法人社団協友会 介護老人保健施設 横浜あおぼの里
会 員	真野 泰成	東京理科大学 薬学部薬学科 准教授
会 員	溝神 文博	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 薬剤部
会 員	山浦 克典	慶応義塾大学 薬学部 教授 附属薬局薬局長 薬学博士
会 員	山中 崇	東京大学医学部在宅医療学拠点 特任准教授
会 員	湯本 哲郎	星薬科大学 薬剤師職能開発研究部門
会 員	吉尾 隆	東邦大学薬学部医療薬学教育センター 臨床薬学研究室 教授 薬学博士 精神科専門薬剤師
会 員	渡辺 謹三	東京薬科大学 薬学部 一般用医薬品学教室
オブザーバー	浅井 文和	朝日新聞社東京本社科学医療部 編集委員
オブザーバー	池野 敬	国立障害者リハビリテーションセンター 研究所 福祉機器開発部 非常勤研究員

役名	氏名	所属・役職
オブザーバー	寺崎 省子	朝日新聞社東京本社科学医療部 記者
オブザーバー	根本 英一	株式会社南山堂「薬局」編集部 編集長
オブザーバー	古川 晶彦	株式会社南山堂 編集部 編集長
オブザーバー	間宮 郁子	国立障害者リハビリテーションセンター研究所 福祉機器開発部
オブザーバー	吉田 学	厚生労働省 大臣官房審議官（医療介護連携担当）
オブザーバー	平野 悌志	医療法人社団松和会池上総合病院 循環器内科

(注) 五十音順で記載しております。

c. 愛知県地域再生・まちづくり研究会

愛知県地域再生・まちづくり研究会では、人口急減・超高齢化により衰退の傾向にある地域が、それぞれの特徴を活かして再生し、自律的で持続的な社会を実現できるまちづくりを追究しており、当年度は9回開催いたしました。

また、2016年5月には、当研究会の1年間の成果を『長生きを喜べるまちへ「愛知への提言」』として冊子に取りまとめるとともに、「長生きを喜べるまちづくりシンポジウム」を開催いたしました。

上記に要した費用は8,907,556円で、内訳は以下のとおりです。

費目	金額	摘要
印刷製本費	2,257,992円	「愛知への提言」、シンポジウムポスター等
諸謝金	1,290,000円	講師、座長
委託費	127,000円	シンポジウム参加者募集・受付等
広告宣伝費	907,000円	シンポジウム広告代
会議費	2,084,389円	研究会会場費、シンポジウム会場費等
旅費交通費	1,652,200円	
通信運搬費	89,303円	
その他	499,672円	消費税等

テーマと講師は、以下のとおりです。

	日程	会場	テーマ	講師
第9回	2016年 1月15日 (金)	ウインクあいち	大阪泉北ニュータウンの取り組みについて	森 一彦 大阪市立大学 教授
			南医療生活協同組合の取り組みについて	成瀬 幸雄 南医療生活協同組合 代表理事
第10回	2016年 2月19日 (金)	ウインクあいち	死の質/生命の質(QOD/QOL)分析	平尾 智宏 香川大学医学部 教授
			長久手市、財政、医療福祉未来予測	小塩 篤史 事業構想大学院大学 教授

	日 程	会 場	テ ー マ	講 師
第 11 回	2016年 3月25日 (金)	ウイン クあい ち	研究会10回を振り返 って、今後を展望する	
第 12 回	2016年 5月20日 (金)	ウィル クあい ち	「長生きを喜べるま ちづくりシンポジウ ム」	詳細は、別途記載
第 13 回	2016年 6月17日 (金)	ウイン クあい ち	「長生きを喜べるま ちづくりシンポジウ ム」を振り返り今後の 予定	
第 14 回	2016年 7月15日 (金)	ウイン クあい ち	愛知県の地域再生計 画について	稲波 智子 愛知県振興部地域政策課主 幹(地域振興)主幹
			豊根村まち・ひと・し ごと創生総合戦略に ついて	青山 幸一 豊根村役場地域振興課長
第 15 回	2016年 8月19日 (金)	ウイン クあい ち	住民主体のまちづく り～高浜市の実践～	吉岡 初浩 高浜市長
			三遠南信の地域づく り	戸田 敏行 愛知大学地域研究センター 教授
第 16 回	2016年 9月16日 (金)	ウイン クあい ち	地域包括ケアシステ ムにおける「地域」に ついて	大森 彌 東京大学 名誉教授
第 17 回	2016年 10月14日 (金)	ウイン クあい ち	もうこれしかない！ わずらわしいまち	吉田 一平 長久手市長
第 18 回	2016年 11月18日 (金)	ウイン クあい ち	多世代共生のまちの 実現に向けて～自立 と連携によるまちづ くり～	太田 稔彦 豊田市長

当研究会の参加メンバーは、以下のとおりです。

役 名	氏 名	所 属 ・ 役 職
座 長	大島 伸一	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 名誉 総長
会 員	石田 芳弘	至学館大学 伊達コミュニケーション研究所 所長 (元犬山市長)
会 員	伊藤 文郎	前国民健康保険中央会 常任監事 (元津島市長)
会 員	大沢 勝	愛知県社会福祉協議会 会長 / 学校法人日本福祉大 学 名誉総長
会 員	亀井 春枝	居宅介護支援事業所 (有) はじめの一步 代表
会 員	北川 薫	梅村学園 学事顧問 (前中京大学 学長)
会 員	長谷川 敏彦	一般社団法人未来医療研究機構 代表理事
会 員	森 貞述	介護相談・地域づくり連絡会 (元高浜市長)

役名	氏名	所属・役職
会員	森 道成	オリーブ薬局 代表取締役
会員	安井 俊夫	愛知県総合看護福祉専門学校 もりのがくえん 校長
会員	山本 保	愛知県政策顧問「改革の風フォーラム」代表
オブザーバー	鈴木 茂彦	愛知県健康福祉部医療制度改革監
オブザーバー	小林 弘和	中部経済産業局 地域経済部次世代産業課 ヘルスケア産業室 室長補佐
オブザーバー	森 道成	オリーブ薬局 代表取締役
オブザーバー	丹羽 則雄	愛知県社会福祉協議会 企画室長
オブザーバー	原口 真	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 企画戦略局長
オブザーバー	大森 雅弥	中日新聞 編集局 編集委員

(注) 五十音順で記載しております。

長生きを喜べるまちづくりシンポジウム
 日時：2016年5月20日（金）13時～17時
 場所：ウィルあいち（650名参加）

長生きを喜べる 未来の答えがここにある! まちづくりシンポジウム

5/20 金 12:00 13:00~17:00
 13:00 開催挨拶 杉浦 昭子 公益財団法人 杉浦記念財団 理事長
 大沢 勲 愛知県社会福祉協議会 会長
 来賓挨拶 大村 秀章 愛知県知事



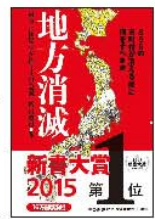
13:15
まちづくり研究会
1年間の叡知
大島 伸一
 国立長寿医療研究センター
 名誉院長、愛知県地域再生・
 まちづくり研究会 会長



大島伸一
 「老後を生き抜く方法」



13:30
日本の未来を示す
増田 寛也
 日本創成会議 座長、
 東京大学公共政策大学院
 客員教授
座長 杉浦 昭子
 公益財団法人 杉浦記念財団 理事長



増田寛也
 「地方消滅」



14:20
まざって暮らす
まちづくり
吉田 一平
 愛知県長久手市長
座長 石田 芳弘
 至学館大学伊藤コミュニケーション
 研究所 所長



14:45
ひろがるイイ
まちづくり
成瀬 幸雄
 南医療生活協同組合 代表理事
座長 山本 保
 愛知県政務顧問、
 「改革の風フォーラム」代表、
 元参議院議員、元総務大臣政務官



15:25
健康?
元気!
北川 薫
 将村学園大学理事、
 前中京大学学長
座長 亀井 春枝
 はじ地の一歩代表、
 元愛知県裁判所 会長

15:50 総合討論

座長 長谷川 敏彦
 一般社団法人 未来医療研究機構 代表理事
座長 森 貞述
 介護相談・地域づくり協議会 前代表、前愛知県海部市長
増田 寛也 日本創成会議 座長、東京大学
吉田 一平 公共政策大学院 客員教授
成瀬 幸雄 愛知県長久手市長
北川 薫 南医療生活協同組合 代表理事
伊藤 文郎 将村学園大学理事、
 前中京大学学長
 国書院大学健康中央会常務理事、
 前愛知県津島市長

閉会挨拶 安井 俊夫 愛知総合看護専門学校校長、
 元愛知県教育長

シンポジウムテーマ

- 1 まちづくり、地域づくりが新高齢社会創造のかぎ
- 2 健康の定義を再考する
- 3 愛知県のまちづくりは日本のそして世界のモデル

会場 ウィルあいち ウィルホール

T461-0016 愛知県名古屋市長久寺上野杉町1番地 ●地下鉄「市役所」駅 2階出口より東へ徒歩約10分



下記4通りのいずれかの方法でお申し込みください。申し込み開始 4月11日(月)~

WEB

下記URLよりアクセスしてください。
 杉浦記念財団 検索
<http://sugi-zaidan.jp/>

電話・FAX

下記の番号までご連絡ください。
 (FAXの場合は、印刷のお申し込み用紙に
 必要事項をご記入の上お送りください。)
電話: 0562-85-6441
FAX: 0562-85-7793

通常はがき

通常はがきに下記の必要事項をご記入の上、お送りください。
 宛先 「長生きを喜べる」事務局
 〒470-1141 愛知県豊明市阿野町5-1 (郵)DS内
 郵便 ①代表者氏名 ②年代 ③性別 ④参加人数(代金おせき付)
 事項 ⑤郵便番号 ⑥住所 ⑦電話・FAX番号 ⑧同行者の氏名・年代



d. 健康寿命延伸と介護予防を考える会

70歳以降に要介護状態に陥ることなく、可能な限り長く自立して生活できるよう、具体的な健康寿命延伸のための方策を追究することを目的に、健康寿命延伸と介護予防を考える会を2016年9月に立ち上げ、当年度は2回開催いたしました。

上記に要した費用は873,997円で、内訳は以下のとおりです。

費目	金額	摘要
諸謝金	220,000円	講師、座長
会議費	438,612円	会場費等
旅費交通費	162,715円	
通信運搬費	3,711円	
その他	48,959円	消費税等

テーマと講師は、以下のとおりです。

	日程	会場	テーマ	講師
第1回	2016年 9月15日 (木)	キャッ スルプ ラザ	予防政策のパラダイム拡張	近藤 克則 千葉大学 予防医学センター 社会予防医学研究部門 教授
第2回	2016年 11月24日 (木)	ウイン クあい ち	健康寿命の延伸のための 足部機能の向上の戦略～ 埼玉県志木市のICTを活用 した取り組み～	山下 和彦 東京医療保健大学 医療 保健学部 医療情報学科 教授

当考える会の参加メンバーは、以下のとおりです。

役名	氏名	所属・役職
座長	鈴木 隆雄	桜美林大学 老年学総合研究所 所長／桜美林大学大学院教授／国立長寿医療研究センター 理事長特任補佐
アドバイザー	近藤 克則	千葉大学 予防医学センター 社会予防医学研究部門教授／国立長寿医療研究センター 老年学・社会科学研究センター 老年学評価研究部長（併任）／日本福祉大学 客員教授
会員	荒井 秀典	国立長寿医療研究センター副院長 老年学・社会科学センター長
会員	阿部 友和	株式会社フィジカルイノベーションズ 代表取締役社長／星城大学リハビリテーション学部非常勤講師・研究員
会員	磯村 順司	社会福祉法人高浜市社会福祉協議会 事務局長
会員	稲垣 毅	一般社団法人 愛知県作業療法士会 会長／愛知県厚生連 海南病院
会員	稲葉 静代	岐阜県西濃保健所 所長
会員	今田 英己	学校法人電波学園 あいちビジネス専門学校教諭／医学博士
会員	江口 澄子	公益社団法人愛知県栄養士会 副会長／鈴鹿医療科学大学 保険衛生学部 医療栄養学科 特任准教授／NPO法人 LET'S 食の絆 副理事長

役名	氏名	所属・役職
会 員	大井 一弥	鈴鹿医療科学大学 大学院薬学研究科 臨床薬理学研究室 教授
会 員	大浦 智子	星城大学リハビリテーション学部 作業療法学専攻 講師
会 員	大田 康博	日本福祉大学 実務家教員／株式会社QOL84（キューオーエルハチヨン）プラス 代表取締役
会 員	岡崎 光洋	一般社団法人スマートヘルスケア協会（SHCA）／北海道大学大学院
会 員	尾崎 恭子	西尾市 健康福祉部 健康課
会 員	加藤 文之	公益社団法人愛知県理学療法士会 副代表理事／名古屋学院大学リハビリテーション学部 教授
会 員	久野 幸信	大府市役所 健康文化部 部長
会 員	小出 由美子	国立長寿医療研究センター 薬剤部
会 員	澤登 久雄	社会医療法人財団 仁医会 牧田総合病院 大田区地域包括支援センター入新井センター長／社会福祉士／介護支援専門員／介護福祉士／おた高齢者見守りネットワーク発起人
会 員	佐々木 直子	名古屋市健康福祉局高齢福祉部地域ケア推進課 保健師
会 員	島田 裕之	国立長寿医療研究センター 老年学・社会科学研究センター 予防老年学研究部 部長
会 員	下方 浩史	名古屋学芸大学健康・栄養研究所 教授
会 員	白石 成明	日本福祉大学 リハビリテーション科 教授
会 員	杉浦 洋子	碧南市役所 健康推進部 高齢介護課 地域支援係
会 員	杉浦あゆみ	碧南市高齢介護課地域支援係
会 員	鈴木 裕介	名古屋大学医学部附属病院地域連携・患者相談センター 病院准教授
会 員	都築 晃	公益社団法人愛知県理学療法士会 理事／地域包括ケア推進委員会 委員長
会 員	野田 幸裕	名城大学 薬学部 教授
会 員	野口 孝政	名古屋市健康福祉局高齢福祉部地域ケア推進課 主査
会 員	林 正実	大府市企画政策部 参事
会 員	藤川 隆彦	鈴鹿医療科学大学薬学部 教授 薬理・動態学分野 分子予防薬理学研究室
会 員	藤田 正之	医療法人仁医会 理事／西尾市地域包括支援センター中央 総合センター長
会 員	水谷文美乃	西尾市健康福祉部健康課 主査
会 員	水鳥 美紀	西尾市健康福祉部長寿課 主査
会 員	宮國 康弘	千葉大学予防医学センター社会予防医学研究部門 特任研究員
会 員	村瀬 文康	愛知県言語聴覚士会 地域リハビリテーション委員 理事／株式会社ジェネラス 訪問看護ステーションほたる
会 員	森下 志穂	愛知県歯科衛生士会 理事／名古屋医健スポーツ専門学校 教務部 歯科衛生科 専任教員 歯科衛生士
会 員	百瀬 由美子	愛知県立大学看護学部・看護学研究科
会 員	堀内 康世	常滑市役所 高齢介護課
会 員	山田 清文	名古屋大学大学院医学系研究科医療薬学・医学部附属病院薬剤部 教授・薬剤部長

役名	氏名	所属・役職
会員	横山 茂紀	名古屋市健康福祉局高齢福祉部地域ケア推進課 課長

(注) 五十音順で記載しております。

(3) 講座・セミナー事業 (一般人対象)

a. 健康増進セミナー

健康増進セミナーでは、体組成・骨密度・血管年齢等の測定、健康相談、講演会を実施しており、当年度は東名阪の主要都市において10回開催いたしました。

上記に要した費用は4,286,440円で、内訳は以下のとおりです。

費目	金額	摘要
諸謝金	2,100,000円	講師
会議費	86,387円	
旅費交通費	110,063円	
通信運搬費	64,181円	
減価償却費	1,547,350円	InBody、超音波骨密度測定装置
その他	378,459円	消費税等

各セミナー、開催日、受付人数は以下のとおりです。

開催日	セミナー	受付人数
健康増進セミナーin 東京	2016年1月30日(土)	310名
健康増進セミナーin 大阪	2016年2月20日(土)	450名
健康増進セミナーin 群馬	2016年3月19日(土)	240名
健康増進セミナーin 兵庫	2016年4月16日(土)	400名
健康増進セミナーin 三重	2016年5月21日(土)	490名
健康増進セミナーin 名古屋	2016年6月5日(日)	700名
健康増進セミナーin 埼玉	2016年7月2日(土)	330名
健康増進セミナーin 京都・滋賀	2016年9月4日(土)	440名
健康増進セミナーin 岐阜	2016年10月15日(土)	400名
健康増進セミナーin 豊橋	2016年11月6日(土)	330名
計	—	4,090名

b. 認知症医療介護推進フォーラム

国立研究開発法人 国立長寿医療研究センターの主催する第3回認知症医療介護推進フォーラムに共催する形で参画いたしました。

上記に要した費用は3,301,083円でした。

費目	金額	摘要
印刷製本費	401,000円	
委託費	1,176,000円	参加者募集・受付等
会議費	1,389,482円	会場費
その他	334,601円	旅費交通費、通信運搬費、消費税等

(4) 講座・セミナー事業（専門家対象）

地域包括ケアを担う薬剤師の為にインターネット研修は、研修認定薬剤師制度における集合研修の単位を取得することのできる研修会となっており、日々忙しい薬剤師でも受講できるものとなっております。

受講者数は1,500名を超え、研修認定薬剤師を200名以上輩出いたしました。当年度は、受講者の急激な増加に対応し、システムを再構築し、5,000名の受講が可能な環境を整えました。

上記に要した費用は1,784,406円で、内訳は以下のとおりです。（収益は951,857円）

費目	金額	摘要
印刷製本費	632,000円	教材撮影編集費
諸謝金	100,000円	講師
支払手数料	528,905円	ID管理費、日本薬剤師研究センター認定費
旅費交通費	257,372円	
減価償却費	66,666円	
その他	199,463円	消費税等

II. 事務報告

1. 役員

2016年12月31日現在の役員は、以下のとおりです。

役名	氏名	所属・役職
理事長	杉浦 昭子	スギホールディングス株式会社 代表取締役副社長
理事	秋下 雅弘	東京大学大学院医学系研究科 教授
	井口 昭久	愛知淑徳大学 健康医療科学部 スポーツ・健康医科学科 教授／名古屋大学 名誉教授
	大島 伸一	国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 名誉総長
	杉浦 伸哉	株式会社スギ薬局 取締役 ウェルネス事業部長
	高瀬 義昌	医療法人社団 至高会 たかせクリニック 院長／公益財団法人日米医学医療交流財団 専務理事
	中井 加代子	公益社団法人愛知県看護協会 監事
	鍋島 俊隆	名古屋大学 名誉教授／NPO医薬品適正使用推進機構 理事長
	野本 慎一	京都大学 名誉教授／滋賀県立リハビリテーションセンター 所長
	久常 節子	元 国際医療福祉大学大学院 副大学院長／元 公益社団法人日本看護協会 会長
	山村 恵子	愛知学院大学 臨床薬剤学講座 教授
監事	神谷 誠	デトロイトトーマツ税理士法人 名古屋事務所 所長
	平野 晃	公認会計士／元 新日本有限責任監査法人 シニアパートナー

(注) 五十音順で記載しております。

2. 評議員

2016年12月31日現在の評議員は、以下のとおりです。

役名	氏名	所属・役職
評議員会長	杉浦 広一	スギホールディングス株式会社 代表取締役会長
評 議 員	荒井 秀典	国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 副院長
	上野 桂子	社会福祉法人 聖隷福祉事業団 監事／社団法人全国訪問看護事業協会 副会長
	木村 隆次	公益社団法人青森県介護支援専門員協会 副会長／一般社団法人青森県薬剤師会 会長
	葛谷 雅文	名古屋大学大学院医学系研究科 発育・加齢医学講座（地域在宅医療学・老年科学分野）教授／名古屋大学医学部附属病院・老年内科長
	倉田 なおみ	昭和大学 薬学部 社会健康薬学講座 地域医療薬学部 教授
	白澤 政和	桜美林大学大学院老年学研究科 教授／日本学術会議 会員
	杉浦 克典	株式会社スギ薬局 常務取締役 事業本部長
	鈴木 匡	名古屋市立大学薬学部 臨床薬学教育研究センター 教授
	高橋 紘士	一般財団法人高齢者住宅財団 理事長
	田中 滋	慶應義塾大学 名誉教授
	辻 哲夫	東京大学 高齢社会総合研究機構 特任教授
	水流 聡子	東京大学大学院 工学系研究科 化学システム工学専攻／医療社会システム工学寄附講座 特任教授
	豊田 百合子	大阪保健福祉専門学校 副学校長／元 公益社団法人大阪府看護協会 会長
伴 信太郎	名古屋大学大学院医学系研究科 総合診療医学講座 教授	

（注）五十音順で記載しております。

3. 事務局組織

2016年12月31日現在における事務局組織は、以下のとおりです。

職員構成

事務局長	1名
企画グループ	2名
総務・経理グループ	2名

4. 理事会

本年度に開催した理事会は、以下のとおりです。

開催日	目的事項
2016年1月12日 (理事会・書面決議)	【決議事項】 ・2016年度（第2期）事業計画書及び予算書承認の件
2016年1月15日 (理事会・書面決議)	【決議事項】 ・2016年度（第2期）事業計画書及び予算書承認の件
2016年3月10日 (第2回定例理事会)	【決議事項】 ・2015年度（第1期）事業報告、計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録承認の件 ・第5回杉浦地域医療振興賞承認の件
2016年3月30日 (理事会・書面決議)	【決議事項】 ・2016年度（第2期）事業計画及び予算補正承認の件
2016年4月27日 (理事会・書面決議)	【決議事項】 ・第5回杉浦地域医療振興助成実施の件
2016年7月12日 (臨時理事会)	【決議事項】 ・2016年度（第2期）事業計画及び予算補正承認の件 ・主催・共催・協賛・後援等の取り扱いに関する規程制定の件（決議保留） ・第5回杉浦地域医療振興助成増額承認の件 【報告事項】 ・業務執行状況報告の件
2016年9月10日 (理事会・書面決議)	【決議事項】 ・主たる事務所移転の件
2016年10月4日 (理事会・書面決議)	【決議事項】 ・杉浦地域医療振興助成授与枠組変更の件 ・インターネット研修サイト再構築の件
2016年12月8日 (第3回定例理事会)	【決議事項】 ・2017年度（第3期）事業計画書及び収支予算書承認の件 【報告事項】 ・業務執行状況報告の件

5. 評議員会

本年度に開催した評議員会は、以下のとおりです。

開催日	目的事項
2016年1月13日 (評議員会・書面決議)	【決議事項】 ・2016年度(第2期)事業計画書及び予算書承認の件
2016年1月17日 (評議員会・書面決議)	【決議事項】 ・2016年度(第2期)事業計画書及び予算書承認の件
2016年3月25日 (第1回定時評議員会)	【報告事項】 ・2015年度(第1期)事業報告報告の件 【決議事項】 ・2015年度(第1期)計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及び財産目録承認の件 ・評議員3名選任の件 ・理事3名選任の件
2016年4月11日 (評議員会・書面決議)	【決議事項】 ・2016年度(第2期)事業計画及び予算補正承認の件
2016年7月12日 (臨時評議員会)	【決議事項】 ・2016年度(第2期)事業計画及び予算補正承認の件
2016年9月4日 (評議員会・書面決議)	【決議事項】 ・定款一部変更の件
2016年12月23日 (評議員会・書面決議)	【決議事項】 ・2017年度(第3期)事業計画書及び収支予算書承認の件

以上

事業報告の附属明細書

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する事業報告の附属明細書は、事業報告の内容を補足する重要な事項が存在しないので、これを作成しておりません。

2017年2月

公益財団法人杉浦記念財団